

## 進めています!自己改革



私たちは、平成28年度から農家・組合員や地域の方々の豊かな暮らしを支えるため、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、具体的な目標値や行動計画を設定して、自己改革に取り組んでいます。  
令和4年度においても、組合員・地域住民の声に基づく自己改革を実践し、農業協同組合の使命である農業所得の向上や地域農業の振興、さらには、地域に根ざした協同組合として「食」と「農」を通じた地域貢献活動に取り組んでいきます。

JAからつが取り組んでいる自己改革の一部を紹介します。

### 畜産部

#### 担い手支援活動で「消費税インボイス制度」について学ぶ



JAからつは「からつ和牛改良組合」と連携し、9月2日玄海町町民会館で、3年ぶりの全体研修会を開催し、約70人が参加しました。令和5年10月から導入される「消費税インボイス制度」の研修では、県域担い手サポートセンターの古賀弘大係長を講師に招き、同制度のメリットやデメリットを詳しく聞き、制度導入に向けた準備について、いち早く学びました。また、東西松浦家畜診療所の称原獣医師や佐賀県農林水産部の担当者を招き、繁殖成績向上の取組みや種雄牛造成について研修しました。質疑応答では、生産者より活発な意見が出され、今後の子牛生産に向け有意義な時間となりました。JAからつは今後も、研修会等を通し地域の畜産振興・活性化を図ります。